新刊紹介

町立図書館おすすめ

図書館においてある最新本の中から
おすすめのものをピックアップ。
バラエティに富んだ新刊をご紹介します。

TAKANOSU LIBRARY
町立
鷹巣図書館
TEL0996-86-1111

ともだちごっこ

内田 麟太郎 著

キツネの住む森にやってきた女の子のテン。笛が上手でかわいいのにわがまま。３日間、キツネ君はわたしだけの友達。オオカミさんとも会わない約束をしてしまいますが…

SASUE LIBRARY
町立
指江図書館
TEL0996-88-6500

四十九日のレシピ

伊吹 有喜 著

大切な人を亡くしたひとつの家族が再生に向かうまでの 49 日間。身近な愛に気付かされる素敵な小説です。

Pick Up New publication

長島文芸

Nagashima Bungei
ながしまぶんげい

明神俳句会

出漁の星の明るき大南風（おおみなみ）　淵脇　護
おもかげは優しく遠ししゃぼん玉　山嵜加代子
灘（なだ）渡る荒き航跡南風　関　佳代美
凛（りん）ちゃんに吹かせてもらふしゃぼん玉　迫口　君代
石鹸玉（しゃぼんだま）弾けて老の身となりぬ　筑前　初市
遊ぶ子の声舞い上がるしゃぼん玉　中橋　藤七
荒南風（あらはえ）や架橋が欲しき子の任地　二階堂妙子
学生の自転車一列夏野ゆく　大堂　早苗
胡瓜蒔き心は遠く子らのもと　山内　公子

長島短歌会

孫の来て共に賑やか過ごしあと見送る吾は寂しさつのる　松元　睦子
晴れわたる天気の欲しきこの日頃たわわに実る枇杷の実見れば　町田キクエ
梅檀の目にしむ若葉陰をなし床しき香りグランドに満つ　吉田　映子
言葉足らず帰る友追ふ道の辺にアカシヤの花こぼれ咲きをり　市尾　操
漁火を点点と置く瀬戸の闇満ち来る潮の港は凪げり　岩下　ち江
灯台の淡き灯りの見へ初めぬ陽は天草に消へてまもなく　岩下　房代
何処にても我に寄りきて肩撫ずる言葉出せざる人の親しさ　樫平　頼子
馬草積むわが傍らの幼孫鶯鳴くを口真似（まね）るらし　米尾　和子
朝の霧にわかに晴れて真向ひの山の風車がわれに迫り来　坂之下典子
気がつけば小庭の草花咲き揃ひ花瓶一杯摘みて活けをり　中山タマエ
窓越しに見る漁火は小さくて去年（こぞ）より今年少なくなりぬ　浜田美代子
車椅子の夫押しつつ花見せし記憶もはるか葉桜仰ぐ　浜畑　松枝
幾億の歳を隔つも荒磯に心癒さる海胆（うに）をとりつつ　林　ヒロ
咲き初めし一輪のみの白き百合友は容易く手折（たお）りてくれぬ　本田　幸子

一般作品

俳句

湯浴（ゆあみ）して蛍もあそぶ橋の上　笹元　政美
髪肩に垂らす少女の白き靴　桐野　眞実

短歌

何事も人をたよらず成すなれば良い事有や事修まるや　町田　末則
母なくも故郷はある姪の手紙やさしさあふる心なごみて　中仮屋辰子
六十四才オムツパンツ恥ずかしも慣れになるのは月日の流れや　宗方　正喜